

スマイル ニュース

SMILE NEWS

202

男女共同参画推進委員会

「昭和モデル」から「令和モデル」に ～男女共同参画白書から～

人生 100 年時代を迎え、家族の姿は多様化していますが、日本では有償労働時間が男性、無償労働時間が女性に偏るなど、固定的な性別役割分担が残っています。



内閣府の「令和 5 年版男女共同参画白書」によると、妻の就業形態に関わらず、夫の帰宅時間は妻よりも遅く、夕方以降の家事・育児は妻が主に担っていることがわかります。我が家でも、夫の方が帰宅時間が遅く、子どもと私が二人でご飯、お風呂を済ませ、寝る頃にやっと夫が帰ってきます。

2018 年に行われた、男女別の「睡眠時間の短い県ランキング」調査では、山梨県の女性が全国 1 位でした。睡眠不足は身体にも心にも影響が出ます。特に出産後の母親は、ホルモンバランスも不安定で、頻回授乳や夜泣きにより、まとまった睡眠時間もとれません。そんなとき、父親が少しでも代わってミルクをあげたり、あやしてくれたりして、寝る時間を確保してくれたらと思います。このとき、「手伝うよ」と言うと母親は不愉快ですのでご注意ください。家事・育児は母親だけの役割ではないですよ。二人で分担して、家族の時間をつくりましょう。

内閣府の男女共同参画に関する調査では、子どもがいる世帯では、女性は家事・育児時間を減らしたいと思い、男性は仕事時間を減らし、家事・育児時間を増やしたいと思う傾向が見取れます。

「男性は仕事」「女性は家庭」の「昭和モデル」から、すべての人が希望に応じて、家庭でも仕事でも活躍できる社会「令和モデル」に切り替えるときが来ているのではないのでしょうか。

【問い合わせ】市男女共同参画推進委員会
(総務課総務担当内) ☎ 62-3117